

保護者用

中学校の部活動改革を進めます！ — 学校部活動から地域クラブへ —

令和6年5月
松前町教育委員会

◎ どうして部活動改革を進めるの？

- ◆ 少子化の影響で部員数の減少
→チームや団体で出場できない！
- ◆ 部活動の種類減少
→やりたい部活動が学校にない！
- ◆ 専門的な指導を受けることができない
- ◆ いろいろな活動をやってみたい
- ◆ 卒業後、活動を続けられる場所がない
- ◆ 中学校の先生の負担を軽減することも必要！
(経験や指導歴のない部活動担当の先生が約半数)



◎ 子どもの活動(スポーツ・文化芸術など)機会の確保

- ◆ 地域で様々な活動を楽しめる
- ◆ 有資格者・専門性のある指導者
- ◆ 学校を超えた仲間の獲得
- ◆ 様々な活動の経験
- ◆ 様々な世代との豊かな交流
- ◆ 卒業後も継続した活動の機会

部活動がすぐになくなるわけではありません。
できるところから、地域連携や地域移行を進めていきます。

部活動の地域連携って？

部活動に地域の人材を活用し部活動指導員や外部指導者の導入を進めることにより、中学校で運営・実施しながら地域の力を生かし、生徒の活動機会を確保するものです。

→モデル事業 北伊予中学校ソフトテニス部(地域の指導者活用) R6年度取組

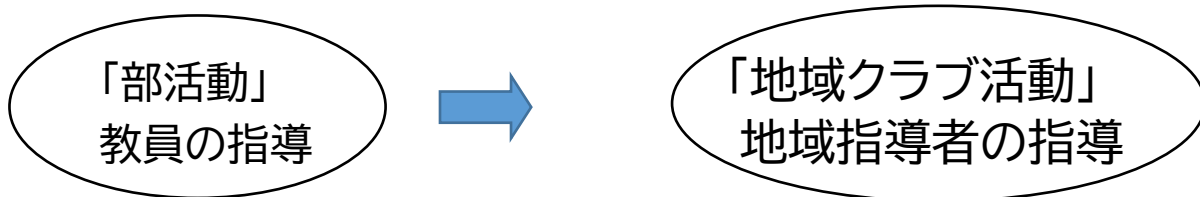
部活動の地域移行って？

地域の様々な団体等が学校と連携しながら運営・実施する地域クラブ活動によって、部活動を代替して生徒の活動機会を確保するものです。

→モデル事業 松前ホッケークラブ(地域クラブでの運営・実施) R6年度取組

松前町でも、地域連携や地域移行を進めます。

- 1 地域の外部指導者・部活動指導員による部活動指導を進めていきます。
 - 実施方法は、部活動の実状に合わせてます。
- 2 町内中学校による合同部活動(複数の学校で一つの部活動を拠点校等で行うこと)を進めていきます。
 - チームや団体で出場できない部活動
 - 通学している学校に部活動がなく、町内の他の中学校にある場合 等
- 3 地域クラブ等を募集し、生徒の活動の場を広げます。



自分のやりたい活動を学校以外で

- 大会上位を目指してうまくなりたい。
- 自分の趣味を生かして楽しく活動したい。
- 今やっている習い事を継続したい。
- スポーツも文化活動も両方行いたい。 等

Q & A

- Q1: 部活動が移行した場合、中学校体育連盟の総合体育大会や新人体育大会への参加はどうなりますか？
- A1: 令和5年度から地域クラブ単位での出場を認めています。(条件あり)学校の部活動からでも、地域クラブからでも参加でき選択することができます。
- Q2: 部活動が地域移行したら、保護者の負担はどうなりますか？
- A2: 学校の部活動ではなくなるため、指導者への謝金や会場使用料、保険料などの費用は保護者の負担となります。
- Q3: 活動中に生徒が事故にあったりけがをしたりした場合、どこが対応するのでしょうか。
- A3: 学校の管理下で行われる部活動での事故等の場合は、学校が対応します。地域クラブ活動での事故等の場合は、原則として運営・実施する団体が対応します。
- Q4: けが等に対する保険はどうなりますか？
- A4: 部活動では学校で加入している保険が適用されます。地域クラブ活動では、学校の保険は適用されません。各自またはクラブ等で保険に加入する必要があります。
- Q5: 高校進学などの時に、地域クラブ活動での活動は生かされるのですか。
- A5: 中学校との連携により活動状況や成績等は、調査書等にも記入されます。

今後、部活動改革に関するアンケート調査を実施いたしますので、その際にご協力いただきますようお願いいたします。